

## 市長への提案 受付実績 提案・回答

令和5年1月から令和5年3月までに皆様からいただいた提案等は22件でした。

令和5年1月～令和5年3月受付分

区分	件数
福祉関係	0件
教育文化	1件
情報通信	0件
防災関係	1件
都市基盤	5件
職員・窓口	3件
環境衛生	1件
観光産業	3件
まちづくり・住民協働	2件
その他	9件
合計	25件

皆様からお寄せいただきました提案（匿名により回答していないものも含む）のうち、令和5年1月から3月までに文書で回答した案件を、個人情報の取扱いに十分留意した上でお知らせします。

ただし、企業等の営業活動、お礼や私的なもの、誹謗中傷、個人が特定できるものなど、公開することが適当でないとは判断したものは除いています。

寄せられた皆様からの提案は、市長が目を通し、竹原市のより良いまちづくりに役立たせるようにしてまいります。

### ○観光産業

標題	竹原市、活性化企画について
提案の趣旨	イベント「竹原酒まつり」を企画してはどうか。
回答	<p>本市では、平成31年度（2019年度）から2028年度までを計画期間とした第6次総合計画において、将来都市像を「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」と設定し、これを実現するため、目指すべきまちの姿として4つの「将来像」を掲げ、まちづくりに取り組んでおります。</p> <p>観光客の誘客促進については、現在、市の認知度・知名度向上に向けた観光プロモーションの展開など、様々な取組を行っています。</p> <p>「竹原の酒まつり」としてご提案いただきましたように、「竹原の酒」は国内外からも人気があり、広く魅力を発信できる貴重な資源であります。</p> <p>また、油谷監督の「吟ずる者たち」をはじめとする映画の舞台となっている「町並み保存地区」につきましても、本市を代表する観光資源の一つであります。</p> <p>市といたしましては、日本酒や町並み保存地区といった今ある観光資源と新たに開発する観光資源を活かしつつ、関係</p>

	者と協働しながら、観光客の誘客促進に取り組み、まちの活力や賑わいの創出につなげてまいりたいと考えております。 あわせてご提案いただきました企画につきましても、誘客促進に取り組む上での参考とさせていただきたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
担当課	産業振興課

標題	竹原市内の J R 西日本在来線列車など
提案の趣旨	竹原市内を走行する J R 在来線全列車をもっと元気にすべき。
回答	<p>この度は、J R 呉線における様々なご提案をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>J R 呉線は、竹原市を含めた芸南地域と広島市を結ぶ地域住民や観光客にとって重要な交通手段であります。</p> <p>このため、昭和 6 3 年に J R 呉線沿岸部及び島しょ部地域で「J R 呉線複線化等期成同盟会」を設立し、鉄道利用者の利便性の向上を目的として、駅ホームの発車メロディの導入や施設の環境改善等に関する事項について、西日本旅客鉄道株式会社へ毎年度要望活動を行っております。</p> <p>また、減少傾向が続く利用者の利用促進を図ることを目的として、「J R 呉線複線化等期成同盟会」内に設置した「瀬戸内さざなみ線利用促進委員会」において、啓発用パンフレットの作成や J R イベントへの協力、ホームページ「瀬戸内さざなみ線の旅へ」を活用した広域的な広報活動を行うなど、沿線住民を含めた J R 呉線の賑わい創出、地域活性化に向けた取組を行ってきたところです。</p> <p>引き続き、西日本旅客鉄道株式会社への要望活動を行っていくとともに、関係機関等と連携し、J R 呉線の利用促進に取り組み、本市を含めた沿線地域の活性化を図ってまいります。</p>
担当課	産業振興課、企画政策課

## ○職員・窓口

標題	その他
提案の趣旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予算を 100%使うという風潮を変えるため、予算の 100%未満で、(四半期毎)業務を完遂した評価基準、体制を設けてはどうか。</li> <li>2 他市に在住する市職員について、地方条例にて(通勤費カット等)着手が必要な時期に来ているのではないか。</li> <li>3 市役所に来庁した際、各デスクまわりが煩雑。デスク周りが整然となっていないならば、仕事は出来ないのではないか。</li> </ol>
回答	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予算執行体制について 予算の執行については、「予算使い切り」の発想を払拭し、効率的な執行や入札等の結果生じた契約差金などにより不用となった予算については、執行を見送り、翌年度の財源として繰り越すなど、歳出の削減に努めております。</li> </ol>

	<p>また、契約の締結については、一般競争入札を原則とし、金額要件により随意契約が可能な場合も含めて、公平性や経費削減の観点から複数の事業者の競争により最も低い価格を提示した事業者との契約を行うことを原則とするとともに、業務内容や契約理由を十分検証し、より費用対効果の高い事業となるよう見直しに努めております。</p> <p>2 市職員の居住地について</p> <p>職員の居住地に関しては、市民税の収入増や災害時の緊急対応等の観点からも、市内に居住することが望ましいと考えており、新規採用職員の募集時には原則として市内居住を求めるとしております。</p> <p>しかしながら、家庭の事情等によりやむを得ず市外へ転出する職員がいるのも事実であり、自治体によっては住居手当等を市内外で区別している例もありますが、諸手当については、居住の自由が憲法で保障された権利であることから、慎重に対応する必要があると考えております。</p> <p>市外への転出を防ぎ、市内への居住を促すような取組は必要であると認識しており、有効な取組等を引き続き検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>3 デスク周りの整理整頓について</p> <p>ご指摘のとおり、デスク周りが整理整頓されていない状況では、資料を探すことに手間取るなど、業務の非効率化を招き、また、市民の皆様に対して与える印象も決して快いものではありません。</p> <p>このことから、職場環境の改善や効率化を図る観点から、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ（ルールの習慣化））をより推進し、市民に不快感を与えないよう、組織的に取り組んでまいります。</p>
担当課	財政課、総務課

## ○防災・安心

標題	ラジオの受信感度の改善
提案の趣旨	ラジオの受信感度が非常に悪く室内では受信出来ない。危機管理の観点から、ラジオの受信感度向上は必須と考えますが対策頂ければと思います。
回答	<p>1 ラジオの受信環境について</p> <p>竹原市におけるラジオ放送（NHK、RCC）の送信所は、呉市や三原市など送信所から離れているため、地形や建物の影響によ</p>

	<p>り受信状況が悪かったり、受信できなかつたりする場合があります。</p> <p>本市におきまして、すぐにこの状況へ対処することが非常に難しく、送信所の設置になりますと、多額の費用がかかることから大変困難な状況です。</p> <p>中国総合通信局および各放送局への問い合わせ状況も同様で、すぐの改善は難しいという回答でございますが、NHK 放送局に確認したところ、大崎上島町の神峰山頂に AM ラジオの FM 補完局を整備され、「津波・高潮などの災害時に、ワイド FM 対応のラジオを使うことで、NHK ラジオ第 1 の放送を FM ラジオでお聞きいただけます。」とのことです。詳細につきましては、次のホームページをご参照願います。</p> <p>(<a href="https://www.nhk.or.jp/hiroshima/anzen/hokan.html">https://www.nhk.or.jp/hiroshima/anzen/hokan.html</a>)</p> <p>2 緊急時・災害時等の情報収集手段について</p> <p>竹原市においては、情報伝達・情報収集・情報共有は、一つの手段で完結するものではなく、様々な手段・方法によることで全体を補完することができるものと考えており、広報、ホームページ、SNS、LINE、タネットなどの媒体を活用しております。</p> <p>緊急時・災害時等においては、これらの媒体に加え、竹原市防災情報等メール配信サービスによる情報発信、消防機関の関係車両による広報活動、自治会長等への連絡網の活用などのほかに、市内 20 か所に設置の屋外スピーカー、公共施設等 39 か所に設置した告知放送端末により、全国瞬時警報システム（Jアラート）からの情報をはじめ、気象情報、避難等に関する情報などを発信しております。</p>
担当課	企画政策課、危機管理課